

第15号 2012.1

藍里病院 機関情報誌

発行: 社会医療法人あいざと会
 藍里病院
 発行者: 院長 久保 一弘
 住所: 徳島県板野郡上板町
 佐藤塚字東 288 番地 3
 電話: 088-694-5151
 F A X: 088-694-5321
 ホームページ

あいざと便り

藍里病院の理念


人権を尊重し、良質な医療サービスを提供して、すべての人々が協働して、地域で共に生きる医療を目指します。

1. 人権の尊重
2. 良質な医療サービス
3. 協働と共生

社会医療法人 あいざと会
 理事長・藍里病院院長 久保 一弘

昨年は、三月一日に東日本大震災があり、大津波に加え、フクシマの原発事故という大惨事がありました。多くの犠牲者と被災者を出して、未だ多くの方が避難生活をしていて、瓦礫処理、町や村の復興の目途も立たない状態です。大津波に建物や船が流されていく映像には衝撃を受け

あけましておめでとうございます
 本年もどうぞよろしくお願ひいたします



ましたが、放射性物質の拡散は目には見えないので、公表された以上の拡がりがあるのではないかと心配です。そのような状況なのに、我が国の政治は、「収束宣言」を出して、与野党大多数で早くも「我が国は、世界一の原発技術を持っている」と言い始めて、原発輸出を決め、「脱原発」の決意を翻しています。世界唯一の2回の原爆体験による、かつての「反原発」をいつの間にか「安全神話」にとつて代わらせ、今回の大惨事に導いた道を再び歩もうとしています。原子力は、完璧にコントロールできる技術はないでしょうし、ひとたび事故が起れば、何十年間も悪影響を残す、他の技術とは比較にならない危険性をはらんでいます。人は失敗を繰り返すものです。もう一度、今回のような事故が起れば、我が国が立ち上がることは難しいのではないのでしょうか。

新しい年が「安全第一」で危険な方向に歩まず、誰もが安心して幸せを感じられる年になることを願っております

人権を尊重し、良質なサービスを提供して、地域で共に生きる医療を目指します。



県内初の『社会医療法人』に 認定されました

昨年一二月一日、あいざと会は、徳島県知事から社会医療法人に認定されました。

社会医療法人は、平成一八年医療法改正において、公立病院改革が進む中で

民間の高い活力を活かしながら、地域住民にとって不可欠な救急医療等確保事業を担う、公益性の高い医療法人として新たに制度化されました。

藍里病院は徳島県の精神科救急輪番制に参加していますが、日当直の医師以外に「緊急対応医」(バックアップ体制)を設けて、救急当番日以外でも夜間や休日などの時間外診療の受け入れに努めております。

平成二〇、二二年度の三年間の、藍里病院の時間外等(救急)診療件数の実績が「精神科救急」の基準を満たしました。他の要件としては、役員、社員等について親族等が一/三以下であること、法人解散時には残余財産を国などのものとすると決めていること等があります。これらは、一九年度から国税庁によって「特定医療法人」に認定されていたので、既に条件を満たしていました。

社会医療法人は、公立病院に準じた法人として医療保健業に関しては、法人税、固定資産税、不動産取得税等非課税の税制上の優遇を受け、他の収益事業も行えて、これに関しては、法人税率は軽減税率二十二%が適用されます。そして、その利益を新たな福祉事業や利用者・関係者のために遣えます。

<社会医療法人の要件>

- 病院の設備構造、業務体制、実績が厚生労働大臣の定める基準に適合。
- 役員、社員等については、親族等が3分の1以下であること。
- 解散時の残余財産を国等に帰属させる旨定款に定めていること。等
- 救急等確保事業(5事業)を実施。**

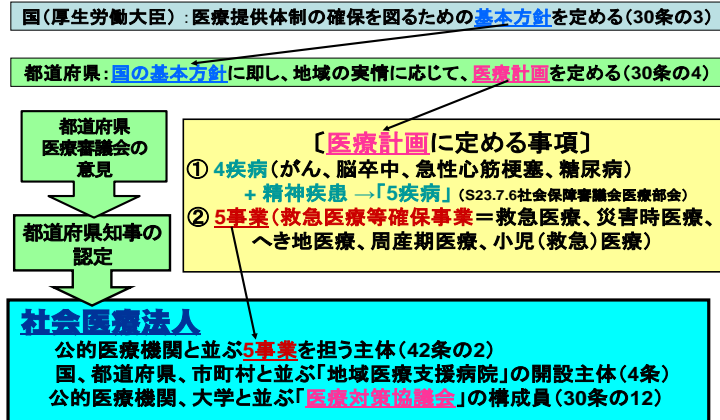
県内初の
社会医療法人
認定

◎東部精神科救急医療圏＝徳島県の人口の約7割余り約60万人が暮らす。

- ◎輪番制精神科救急システムに参加(8病院)⇒平成10年11月発足時から参加。
- ◎救急医療等確保事業「精神科救急」の基準＝3年間で人口万対7.5以上の時間外等(休日、深夜を含む)診療件数＝約450件以上必要。ただし、時間外等入院は件数に含まれない。⇒達成。
- ◎応急入院指定病院であること⇒平成16年2月より指定されている。

徳島県
平成21年現在

社会医療法人(医療法上の規定)



医療法上の位置づけ

また、社会医療法人は、大学や公的医療機関で構成する「医療対策協議会」の構成員となり、都道府県の「医療計画」の策定に関わることになっていきます。「医療計画」に定める事項「四疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)」については、平成二三年七月に精神疾患が加えられて「五疾病」となりましたから、役割が大きくなったと言

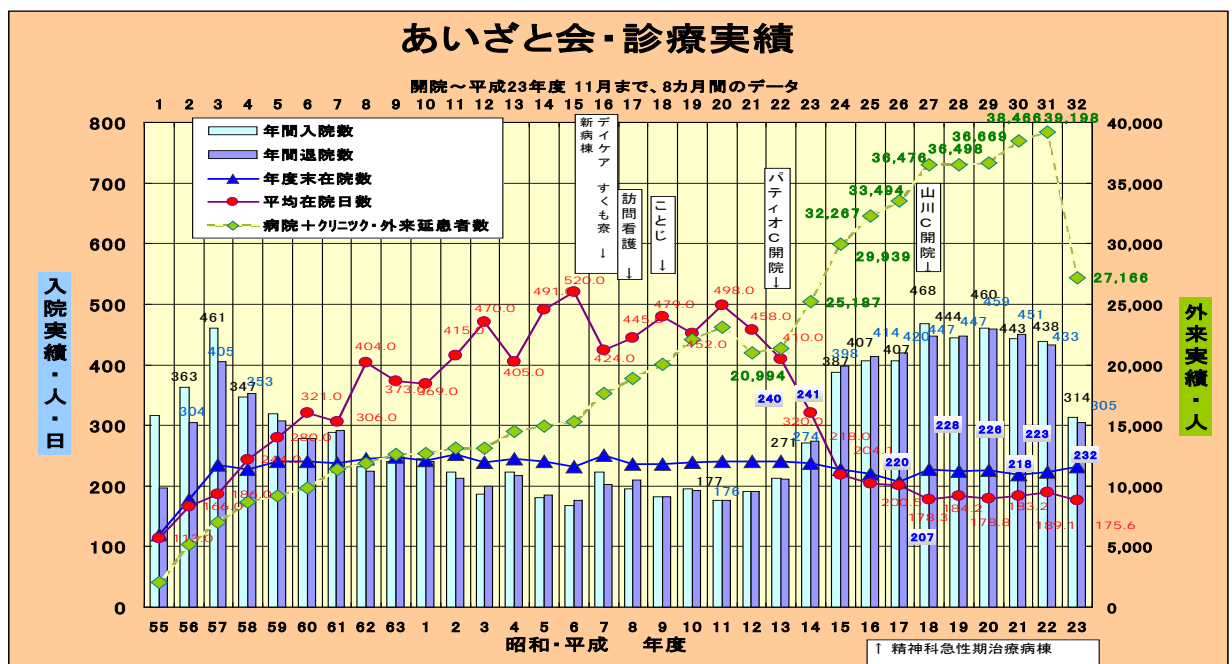
えます。

より良い医療と福祉のサービスに努めます

藍里病院は平成一三年から退院促進に取り組み、急性期治療を短期・集中的に行う体制を整備し、一六年一〇月、県内初の「精神科急性期治療病棟1」の認可を受けました。これによって入院期間が非常に短くなり、かつての倍以上の入院患者さんを受け入れております。現在では、藍里病院と、徳島市蔵本駅前と吉野川市山川町に開設した精神科クリニックにおける外来診療、訪問看護、デイケア等の医療サービスと、地域活動支援センター「ことじ」、生活訓練施設「すくも寮」などの、住居、生活訓練、就労支援など、福祉サービスを利用して地域で生活する方が増えています。



あいざと会・診療実績

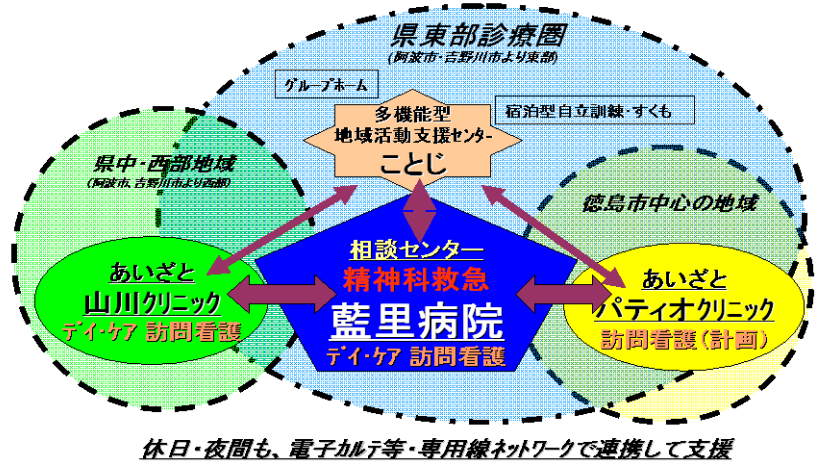


24時間相談窓口を予定しています

病院、クリニック、施設の「電子カルテ」等を専用線で結び、夜間でも利用者サービスに活用できるシステムを構築し、平成二三年六月からは「あいざとこころの医療福祉相談センター」を開設して、精神科救急、受診前相談、受診後相談、暮らしの相談等の電話相談を行って、地域での暮らしをサポートしております。この相談センターは、今春からは「24時間相談窓口」に拡大する予



地域支援・時間外等診療にも対応



定にしてあります。二三年一二月一三日からは吉野川市のあいざと山川クリニックにデイ・ケアを開設しましたし、本年は、あいざとパティオクリニックにも訪問看護室を設ける予定にしております。住居対策としては、本年も昨年に続いて新たなグループホームを計画しております。生活訓練施設「すぐも寮」は今春からは、宿泊型自立訓練事業所「すぐも」とする

予定です。

今後も、藍里病院はもちろんのこと、二つのクリニックも診療体制の充実をはかり、精神科救急、統合失調症、気分障害、認知症、依存症、合併症などの診療機能、そして、地域医療・外来機能を高めたいと思います。また、地域活動支援センター「ことじ」、生活訓練施設「すぐも寮」など、そして医療サイドではデイ・ケアや訪問看護、そして相談室などが利用者、ご家族、県・市町村など、関係機関等の皆様と連携・協働してこれまで以上に相談支援、生活支援、退院支援などに取り組んで参ります。

これからも、あいざと会は、精神科医療・福祉サービスで地域に貢献して参りますので、ご協力、ご利用をお願い致します。



患者さんの作品

デイケアの開所に期待して

あいざと山川クリニック

院長 鬼原 治良

この度のデイケア・SANGA・山河の開設が社会医療法人としての最初の事業となったことを喜びと感じています。

平成十八年三月、クリニックの開院当初は都会のように精神科クリニックの必要度はないと考えていました。それでも交通の便が悪い県西部では、遠くから医療機関を受診するには不便を感じている人はあるだろうから、採算は別として、少なくとも藍里病院へ通院中のの人にとっては

サービスの向上にはなり、訪問看護も地域を拠点にすることでメリツトはあると考えていました。ところが二、三年も経過すると小生の予想に反して、受診する人には申し訳ないほどの待ち時間の長い、スタッフには多忙な状況となりました。今年で五年余りが経過し、クリニックにも病院デイケアに



入り口 受付前 風景



広々とした室内

通えない人たち向けの病院とは違った地域に密着するようなデイケアもあつたらいいのにとの思いがやつと実現しつつあります。それも大勢の受診者があり、デイケア参加してもらえそうな状況ができたおかげです。近隣の医療機関から患者さんを紹介して頂いたお礼も申し上げなければなりません、まずは信頼して頂いたことを感謝致します。

今年は何年になく様々な出来事に遭遇しました。世界的にはイスラム世界の政変、ヨーロッパの信用不安、3・11の大震災・原発事故、つまりは政治、経済、科学技術への信頼がぐらついた一年でした。個人としても

このままでいいのかとの存在不安を感じた一年でした、不安定さの中で絆を求めて結婚する人が増加したとかの話題もありますが、「絆」という言葉が古くさくなく親しみと共に感じられました。そうした社会風潮の中でデイケアの愛称を考え、地域との絆を大切にするという意味もあり SANGA としました、山川にあるので、「山河」なんですが、歌謡番組で唄われている「山河」同様、心の中のあるさとの風景でもあります。小生もスタッフとなるわけですが、皆様から親しまれるデイケアに育つてくれることを祈っています。

12/13 にオープンしたデイケア





藍里病院

精神科・心療内科・内科

精神科デイケア
精神科訪問看護
精神保健相談

受付

(午前)月～金曜日 午前9:00～11:30
(午後)月～水・金 午前1:00～4:00

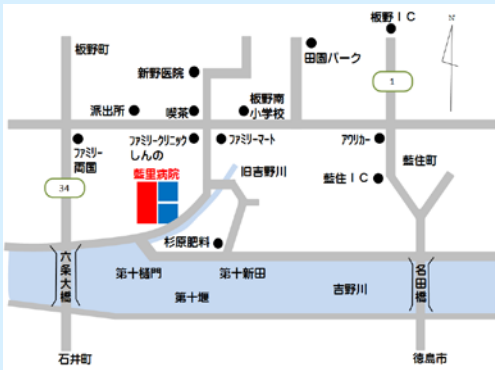
診療

(午前)月～金曜日 午前9:30～12:30
(午後)月～水・金 午後1:30～4:30

休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、木曜午後

外来	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土・日
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	休診日
新患	守本 宇山	中木	吉田 宇山	元木 井上	大学 宇山 守本	大学 井上	藤本 宇山	守本 井上 中木 宇山	元木	守本	休日・時間外の診療を希望される方は、 予めお電話下さい。
再来	久保 吉田 城福	久保	山下 元木	宇山	中木 久保	藤本	山下 鬼原 吉田		守本 吉田	井上	
専門 外来	城福						藤本： 老年期 吉田： 依存症				



〒771-1342
徳島県板野郡上板町佐藤塚字東288番地3
TEL 088-694-5151 FAX 088-694-5321

交通案内

- 徳島バスご利用の場合
北岸廻り/徳島～鴨島線（一条経由）第十新田又は第十樋門下車-徒歩10分
- JR・タクシーご利用の場合
蔵本駅より-車で約15分
板野駅より-車で約10分
石井駅より-車で約12分
- 自動車道ご利用の場合
高松板野ICより-約10分
徳島道藍住ICより-約7分

あいざとこころの医療福祉相談センター

「精神救急」等の時間外相談に対応 毎日午後5時～10時 TEL 088-694-5151

あいざとパティオクリニック

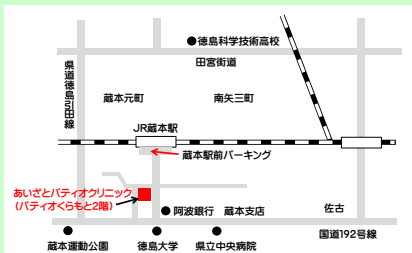
心療内科・精神科

受付 (午前)月～水・金・土 午前9:00～12:00
(午後)月～水・金 午前1:00～6:00
土曜日 午後1:30～5:30

診療 (午前)月～水・金・土 午前9:30～12:30
(午後)月～水・金 午前2:00～6:30
土曜日 午後2:00～6:00

休診日 日曜日・祝祭日・木曜日

外来	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
新・再	山下	元木	井上	中木	藤本 吉田	山下 吉田			藤本	藤本	山下	藤本 1245 久保3
専門 外来	山下 ストレス					吉田 アルコール			藤本 うつ病		山下 不眠	



交通案内

- バスご利用の場合
県立中央病院・大学病院
前下車-徒歩3分
- JRご利用の場合
蔵本駅より-徒歩約3分
- 駐車場=蔵本駅前パーキングを利用して下さい
受診時は無料になります。

770-0042 徳島県徳島市蔵本本町2丁目30番地1パティオくらもと2階
TEL 088-634-1881 FAX088-634-1880

あいざと山川クリニック

心療内科・精神科

(デイケア、精神訪問看護、地域連携、精神保健相談実施)

受付 (午前)月～水・金・土 午前9:00～12:00
(午後)月～水・金 午前2:00～4:00

診療 (午前)月～水・金・土 午前9:30～12:30
(午後)月～水・金 午前2:30～5:00

休診日 日曜日・祝祭日・木曜日

外来	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前		久保				鬼原 135 中木2 元木4
午後	鬼原		城福 (鬼原)	休診日	鬼原	



交通案内

- JRご利用の場合
阿波山川駅より
- 駐車場=クリニック内及び
表示場所

779-3403 徳島県吉野川市山川町前川200番地2
TEL 0883-42-8811 FAX 0883-42-8812